

平成 23 年度 事務事業事後評価調書 (平成 22 年度事業)

整理番号 5 - 1

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		歯科保健事業				
評価者	担当課名		保健福祉課	担当係名		保健係
	管理職	職名	保健福祉課長	作成者	職名	保健係長
		氏名	淡路至尊		氏名	佐々木希美枝
事業の概要		むし歯・歯周疾患を予防し生涯にわたる食事・咀嚼機能を維持するなど病気の予防と生活の質(QOL)の向上を図ることを目的に歯科健診・歯科保健指導等を実施する。			全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度) 事業費 国・道支出金 304 千円 地方債 千円 その他 700 千円 一般財源 1,983 千円 事業費計 2,987 千円	
実施方法		直営	民間委託	その他 ( )		
第 5 期 総合計画 (前期)		登載事業		非登載事業	優先度	B
事業の位置付け		政策目標	2 めくもり・雄武 ~ 保健・医療・福祉の充実 ~			
		基本施策	6 保健・医療の充実			
		単位施策	1 主体的な健康づくりの促進			
		事務事業の種類	自治事務	法定受託事務		
		その他計画・根拠等	健康増進法、母子保健法			
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	32 千円	千円	56 千円	56 千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	180 千円	137 千円	146 千円	140 千円	140 千円
	雄武町負担額 (一般財源)	376 千円	373 千円	380 千円	444 千円	411 千円
	合計	556 千円	542 千円	526 千円	640 千円	607 千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標 (目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)					
【抱える課題やニーズは】	健康生活を維持する上で、歯科・口腔機能の維持・向上が重要である	歯科保健関連事業参加者の増					
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	むし歯・歯周疾患の発生を予防し歯科口腔機能を生涯にわたり維持できる	歯科保健関連事業参加者の増(平成21年度実績549人)	指標(指標計算式/解説)			目標値及び実績値	
			目標年度	22年度		目標値	549 人
			実績値	688 人		達成度	125.3 %
			達成度	125.3 %			
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	生涯を通じておいしく食事をとることができる歯科・口腔機能を維持できる	3歳児歯科健診でむし歯のない児童の率が全道平均値以上	指標(指標計算式/解説)			目標値及び実績値	
			目標年度	22年度		目標値	72 %
			実績値	77.5 %		達成度	107.6 %
			達成度	107.6 %			
内 容 (どのような手段で何を行ったか)							
歯科保健指導の実施	乳幼児健診、健康相談時に歯科医師・歯科衛生士が歯科保健指導を実施し、むし歯・歯周疾患予防に対する意識や知識の啓発を行った。						
フッ素塗布の実施	1歳以上の幼児を対象にむし歯予防に効果があるフッ素塗布の機会を提供した。						

### 3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	生涯にわたる健康維持、食生活の質を維持するためには歯科・口腔機能の影響は大きく歯科保健に関する知識や意識の啓発を図ることが必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	
必要 / 概ね必要 / 課題あり		

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	計画通り事業を実施し目標値を達成することができた。但し、指標とした3歳児歯科健診以降の歯科保健指標は悪化傾向のため、事業の有効性を高める必要がある。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	
有効 / 概ね有効 / 課題あり		

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	乳幼児健診、保育所事業等関連する事業と同時に実施する等の工夫により効率的な事業の実施に努めた。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	
効率的 / 概ね効率的 / 課題あり		

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	事業の一部には受益者負担を求めている。また、事業の実施時は広く対象者全体へ周知を行い公平性の確保に努めた。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	
公平 / 概ね公平 / 公平でない		

### 4 総合評価【A～D】

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等

B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等

C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等

D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画的な事業の実施により目標値を達成することができた。		



継続 / 現状維持		
今後も、歯科保健専門職である歯科医師、歯科衛生士を活用し乳幼児期から成人を含めた歯科保健事業を推進し、歯・口腔機能の維持・向上に努める。		
* 展開方向の区分 継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止		

### 5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--